



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月1日

東

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所  
 コード番号 3173 URL <https://www.cominix.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)柳川 重昌  
 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)林 祐介 (TEL)06(7663)8208  
 問合せ先責任者 兼経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	21,568	8.4	720	44.4	893	54.6	599	△29.3
2022年3月期第3四半期	19,898	33.5	499	—	577	—	848	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 832百万円(△14.9%) 2022年3月期第3四半期 978百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	87.35	—
2022年3月期第3四半期	123.54	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	19,422	7,274	37.4
2022年3月期	18,656	6,677	35.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 7,254百万円 2022年3月期 6,651百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	9.00	—	21.00	30.00
2023年3月期	—	13.00	—		
2023年3月期(予想)				17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	29,000	7.7	1,000	50.8	1,010	29.2	645	△27.4		93.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期3Q	6,868,840株	2022年3月期	6,868,840株
2023年3月期3Q	335株	2022年3月期	335株
2023年3月期3Q	6,868,505株	2022年3月期3Q	6,868,505株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間および第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするために、前連結会計年度および前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染状況は再び増加傾向となったものの、景気は緩やかな回復傾向がみられました。一方で、原材料コストの上昇やエネルギー価格の高騰による物価上昇などの景気減退要因は存在感を増してきており、依然として先行きが不透明な状態で推移いたしました。

また、世界経済においては、長期化する円安傾向をはじめ、ウクライナをめぐる国際情勢の不安や中国のゼロコロナ政策からの転換など、経済環境の先行きが一層不透明な事業環境が続くことが予想されております。

当社はこのような不透明な事業環境下において、本年度よりスタートさせた新中長期計画に掲げた基本方針のとおり、「真の生産性向上に貢献する高度専門商社への変革」に取り組みました。

特に、戦略骨子として掲げた「収益性向上」としての商品粗利率の改善や、11月に開催された日本国際工作機械見本市（JIMTOF2022）では当社の競争力の源泉となる幅広い取扱商材を展示・紹介するなど、シェア拡大や成長領域の拡充に注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は21,568百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は720百万円（前年同四半期比44.4%増）、経常利益は893百万円（前年同四半期比54.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は599百万円（前年同四半期比29.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### 切削工具事業

切削工具事業につきましては、主要販売先である自動車業界において車載用半導体など部品の供給制約の緩和や円安による底堅い輸出を背景として工場稼働が回復基調になってきており、当社においても主力の商材及びオリジナル製品の販売拡大に取り組みました。また、仕入コストの上昇を着実に製品販売価格へ転嫁し、その結果、売上高は12,483百万円（前年同四半期比0.3%増）、セグメント利益は229百万円（前年同四半期比191.0%増）と増収増益となりました。

#### 耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、成長分野であるEV関連の受注獲得に注力しましたが、主要販売先である製缶業界の設備投資案件の減少などにより主要顧客向けへの販売が低調に推移した結果、売上高は1,937百万円（前年同四半期比0.5%減）、セグメント利益は81百万円（前年同四半期比33.4%減）と減収減益となりました。

#### 海外事業

海外事業につきましては、中国でのゼロコロナ政策からの転換に伴う感染者急増により工業生産の減速リスクは依然として介在するものの、Cominixグループ全体でのグローバル展開を加速させた結果、中国や米国を中心に業績は堅調に推移いたしました。また、円安の影響も追い風となり、その結果、売上高は5,393百万円（前年同四半期比34.0%増）、セグメント利益は348百万円（前年同四半期比47.8%増）と増収増益となりました。



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,853	2,993
受取手形及び売掛金	5,025	5,122
電子記録債権	1,008	1,196
棚卸資産	5,835	6,313
その他	555	613
貸倒引当金	△49	△50
流動資産合計	15,229	16,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	275	266
土地	361	363
その他（純額）	243	260
有形固定資産合計	880	891
無形固定資産		
のれん	351	302
その他	185	142
無形固定資産合計	537	444
投資その他の資産		
その他	2,045	1,934
貸倒引当金	△35	△36
投資その他の資産合計	2,009	1,897
固定資産合計	3,427	3,233
資産合計	18,656	19,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,829	2,483
電子記録債務	2,047	1,956
短期借入金	1,924	2,958
1年内償還予定の社債	—	50
1年内返済予定の長期借入金	896	1,039
未払法人税等	431	131
賞与引当金	193	107
役員賞与引当金	27	30
その他	460	466
流動負債合計	8,810	9,225
固定負債		
長期借入金	2,161	1,990
役員退職慰労引当金	323	304
退職給付に係る負債	395	435
その他	287	192
固定負債合計	3,168	2,922
負債合計	11,979	12,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	350	350
資本剰余金	330	330
利益剰余金	5,810	6,176
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,490	6,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	60
為替換算調整勘定	85	338
その他の包括利益累計額合計	161	398
非支配株主持分	25	19
純資産合計	6,677	7,274
負債純資産合計	18,656	19,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	19,898	21,568
売上原価	15,781	16,884
売上総利益	4,116	4,684
販売費及び一般管理費	3,617	3,964
営業利益	499	720
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	16	17
為替差益	22	121
補助金収入	32	15
その他	66	67
営業外収益合計	139	225
営業外費用		
支払利息	28	27
その他	32	24
営業外費用合計	60	52
経常利益	577	893
特別利益		
保険解約返戻金	—	71
固定資産売却益	665	—
負ののれん発生益	12	—
特別利益合計	678	71
特別損失		
減損損失	—	※1 28
特別損失合計	—	28
税金等調整前四半期純利益	1,256	935
法人税、住民税及び事業税	414	275
法人税等調整額	△7	66
法人税等合計	406	342
四半期純利益	849	592
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	848	599



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	849	592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△15
為替換算調整勘定	97	255
その他の包括利益合計	128	239
四半期包括利益	978	832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	976	836
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 減損損失

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失(百万円)
大阪府中央区	事業用資産	ソフトウェア	28
大阪府中央区	事業用資産	工具、器具及び備品	0
—	—	—	28

当社グループは、管理会計上の区分を基礎として資産のグルーピングを行っております。

当社の連結子会社であるさくさく株式会社において、当初予定していた収益を見込めなくなったため、上記の固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は、使用価値により測定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	切削工具 事業	耐摩工具 事業	海外 事業	光製品 事業	eコマース 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	12,445	1,947	4,024	883	6	19,307	590	19,898	—	19,898
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	6	9	—	1	31	10	41	△41	—
計	12,460	1,953	4,033	883	8	19,339	600	19,939	△41	19,898
セグメント利益 又は損失(△)	78	122	236	46	△46	436	25	462	36	499

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額36百万円は、セグメント間取引消去△5百万円、社内上各セグメントに配賦した調整額42百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	切削工具 事業	耐摩工具 事業	海外 事業	光製品 事業	eコマース 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	12,483	1,937	5,393	1,232	15	21,063	505	21,568	—	21,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	12	12	0	4	55	68	124	△124	—
計	12,509	1,949	5,406	1,233	19	21,119	573	21,692	△124	21,568
セグメント利益 又は損失(△)	229	81	348	110	△67	702	△26	676	44	720

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額44百万円は、セグメント間取引消去△0百万円、社内上各セグメントに配賦した調整額44百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」に含まれていた「eコマース事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、より適切な報告セグメント別の損益を把握するため、共通費の配賦方法を一部見直し、事業セグメントの利益または損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「eコマース事業」において、収益性の低下した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。詳細は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結損益計算書関係)」をご参照ください。